



ラグビー

◆医療用品を贈呈 ラグビー関係者による医療従事者への支援活動「ラグビーエイド」の先頭に立っている元日本代表で、今季限りで引退した大野均さん(42)らが19日、戸塚共立第1病院(横浜市戸塚区)を訪れ、ゴーグルや手袋などの医療用品700セット、フェースシールド2800枚の目録を贈った。クラウドファンディングで集まった資金で購入したもので、大野さんは「微力ながら支援できてうれしい」と話した。